

宇根本集会所解体工事

設計図

令和 6年 5月

I

工事概要

工事場所

長浜市 木之本町廣瀬

建物概要

NO	建物名称	構造	階数	竣工年度	備考
1	集会所	S造	1階	昭和56年度	
2					
3					
4					

概要説明

・宇根本集会所の解体工事  
・解体後、敷地の整地工事

特記事項

・JR線路近接協議の申請書を西日本旅客鉄道株式会社に提出し、協議を行うこと。  
添付書類：位置図、平面図、足場計算書、横断面、現場写真、施工要領図、重機や足場シートのカタログ、その他

II

建築工事仕様

1. 標準仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官務部制定の「建築物解体工事共通仕様書（最新版）」、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（最新版）」（以下「仕様」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）」（以下「改修仕様」という。）による。（国土交通省大臣官庁官庁官務部監修 「建築工事監理指針（最新版）」及び「建築改修工事監理指針（最新版）」を参考とする。）

2. 特記仕様書の表記

(1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は◎ 印の付いたものを適用する。

○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○ 印と◎ 印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の＜ ＜ ＞内表示番号は、建築物解体工事共通仕様書（最新版）の当該項目、当該図又は当該表を示す。（ ＜ ＞内表示番号は、仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。[ ＜ ＞内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章

項目

特記事項

1

一般共通事項

① 施工基準

本工事は、工事請負契約書及び同約款を遵守し、質問回答書、現場説明書、本特記仕様書を含む図面、仕様及び改修仕様により完全に施工する。  
上記相互間に相違のある場合の優先順位は、記載の順序とする。  
＜1. 1. 1＞

② 工事実績情報の登録 (CORINS)

請負金額が500万円以上の場合は、契約(変更)、完成時のそれぞれ10日以内に登録すること。  
＜1. 1. 4＞

③ 提出図書

※施工計画書

提出部数

※1部

＜1. 2. 2＞

・施工図

提出部数

※1部

＜1. 2. 3＞

・完成図

提出部数

※2部 (A3版縮小製本及び電子媒体)

(1. 7. 2)

・保全に関する資料

提出部数

※2部

部

(1. 7. 3)

④ 施工体制

受注者等は、公共工事入札契約適正化法に基づき施工体制台帳の写しを提出すること。  
また、市担当者から施工体制の点検を求められたら対応し、指摘がある場合は是正すること。  
＜1. 3. 1＞

5 技術管理

受注者等は、建設業法に定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し技術管理にあたらせること。  
(1. 3. 2)

⑥ 施工条件

次に指定する工程・作業は指定の日時に行うこと。  
＜1. 3. 5＞

工程・作業

指定日時

仮囲い設置・撤去

JRとの協議による

7 地元説明会

受注者等は、施工に先立ち地元自治会、近隣住民等々に工事施工内容の説明を行うこと。  
＜1. 3. 6＞

8 近隣家屋の調査

受注者等は、工事の着手前および完了後に、図示部分の近隣家屋調査（内部及び外部）を実施し、工事に起因する損傷等の有無を確認すること。万一、損傷等が生じた場合は請負人の責任において現状に復旧すること。また、受注者が自ら必要と思われる図示以外の近隣家屋・工作物等についても調査を行うこと。  
＜1. 3. 6＞

9 総括安全衛生管理義務者

労働安全衛生法第30条第2項の総括安全衛生管理義務者を選任する。  
＜1. 3. 6＞

⑩ 安全対策

各種関係法令に基づき、常に工事の安全に留意し、施工に伴う災害及び事故の防止に努め、施工の各段階において、騒音、振動、粉じん、臭気、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺の環境保全を図り工事全般の対策を講ずること。  
また、施設運営にも担当者と協議を行い支障のないよう努めること。  
＜1. 3. 6～8＞

⑪ 公害対策

工事着手前に付近の状況を調査し、騒音、振動、塵埃の発生、土壌汚染、排水汚染等公害発生のなきよう、工事竣工まで万全の対策を講ずること。  
＜1. 3. 9＞

⑫ 産業廃棄物の処理

受注者等は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承諾を受けると。  
(1) 本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」を厳守し、分別解体及び再資源化等実施すること。  
(2) 「資源の有効な利用の促進に関する法律」（リサイクル法）及び建設副産物適正処理推進要綱を厳守し、建設副産物の発生抑制および再利用の促進に努めること。また再生資源利用（促進）計画書および同実施書を作成し速やかに報告のこと。  
(3) 請負人は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を厳守し、同法第12条の3によるマニフェストシステムにより的確に実施すること。  
＜1. 3. 11＞

⑬ 発生材の処理等

※構外搬出適切処理 ・指定（ ）  
＜1. 3. 10＞

⑭ 石綿含有建材の事前調査制度

※大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、その他石綿処理に関する法令等に基づき実施すること。また、調査結果を石綿事前調査結果報告システム等を使用し報告を行うこと。  
1. 調査範囲、既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与等は、下記による。  
調査範囲 ・当該施工範囲 ○ 図示  
貸与書類 ・建設当初図面 ○ 石綿調査報告書  
分析方法 ・JIS に規定されている定性分析方法にて行うこと。  
・JIS に規定されている定性分析を行った上定量分析を行うこと。  
＜1. 4. 1＞

15 技能士

適用工事種別

作業種別

＜1. 6. 2＞

仮設工事

・とび

防水工事

・アスファルト防水 ・改質アスファルトシートトーチ工法  
・アクリルゴム系塗膜防水 ・ウレタンゴム系塗膜防水  
・塩化ビニル系シート防水 ・合成ゴム系シート防水  
・セメント系防水 ・FRP防水 ・シーリング防水

タイル工事

・タイル張り

木工事

・大工

屋根及びとい工事

・内外装板金 ・スレート工事

金属工事

・鋼製下地 ・内外装板金

左官工事

・左官

塗装工事

・建築塗装

内装工事

・プラスチック系床仕上げ ・カーペット系床仕上げ ・ボード仕上げ ・壁装

16 一工程報告

一工程施工報告書の提出 ・不要  
・解体 ・防水改修 ・外壁改修 ・耐震改修  
・各工程毎  
＜1. 6. 3＞

17 取扱説明書の作成

竣工引渡し時に取扱説明書等必要書類を必要部数作成し、ファイリングして提出すること。（部数、詳細については、監督職員の指示による。）  
(1. 7. 3)

⑬ 現場代理人等

イ「長浜市現場代理人の常駐に関する運用基準」に従い、現場代理人を決定し届け出ること。  
ロ 現場代理人は、受注者等との直接的な雇用関係を証するもの（健康保険証の写し等）を「現場代理人等届」に添付すること。また、「現場代理人等変更届」も同様とする。  
ハ 主任（監理）技術者も同様の確認を受けなければならない。  
ニ 現場代理人と主任技術者または監理技術者を兼ねることができる。

⑭ 工事写真

区 分

撮影箇所

提出部数

備 考

着工前、完成

・3 ※6 ・15 ・30

3

同じ位置で撮影すること。

工事中

1

必要に応じ撮影する

定期提出

代表的な出来高の部分

1

工事月報用

工事写真の撮影要領は、「工事写真撮影ガイドブック・建築工事編」(国土交通省大臣官庁官務部監修)による。

20 竣工写真

竣工写真はキャビネ版カラープリントによる写真を製本し、また、画像データを電子媒体で各1部提出すること。

21 下請業者等の選定

各種下請業者、製造所等市内で供給出来るものについては、極力市内業者を選定すること。

22 保険等

受注者は工事の内容に応じた火災保険、建設工事組立保険等を工事目的物に付すとともに、第三者等への損害についても補償する保険に加入すること。  
また、本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

23 設計図の製本

工事着手前に製本を作成し、監督職員に提出のこと。 A3サイズ 2部数

⑭ 軽微な変更

設計図書に明記なくとも機能上、構造上当然必要と認められる軽微な変更および追加工事においては、請負金額の増減対象としない。

25 不当介入に関する通報制度

1. 受注者等は暴力団員等による不当介入(不当な要求又は業務の妨害)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。  
2. 受注者等は前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書により、監督職員に報告するものとする。また、受注者等は、以下のことについて、下請負人(再委託の協力者を含む)に対して、十分に指導を行うものとする。  
3. 受注者等は暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

26 特殊な材料の工法

仕様に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

27 各種検査合格書等

各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書又は保証書およびその写し各1部を提出すること。なお、責任施工のものは、請負契約者・施工下請業者・材料製造所の連名書とする。

28 シンナー等の保管

シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止するとともに、保管数量についても、作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。

29 火気の管理

喫煙等については一定の場所を指定し、火元責任者を配すること。

30 過積載防止の措置

受注者等は過積載等の違法運行防止を図るため、道路交通法を遵守する旨を記載した施工計画書を提出すること。

31 騒音振動の防止

受注者等は、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程（平成13年国土交通省告示第487号）」に基づき指定された建設機械（'97ラベル）を使用すること。

32 設計GL

※ 図示 ・監督職員が現場にて決定する。

33 不法無線局の排除

受注者等は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとし、工事現場において、不法無線局を搭載していると疑わしい車両を発見したときは、速やかに監督職員にその旨報告すること。

34 別途工事との連絡協議

受注者等は、別途施工する電気・機械設備工事の業者間で互いに連絡を取り、定期的に協議を行い、工事施工上の調整を図ること。また、工事区分の取り合いにて図示がある場合においても、施工時に必要に応じて協議を行い連絡を密にすること。

35 申請等

本工事における官公庁の各種検査および完了にかかる消防法等、すべての法的検査は受注者等にて行うものとする。また、その費用（手数料料）は一切受注負担とする。

⑯ 長浜市週休2日取組指定工事の実施

本工事は、発注者が工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完了日（工事請負契約の履行した通知である工事完了届書を提出した日）までのうち、非対象期間を除いた期間において4週8休以上の現場閉所に取り組むことを指定する週休2日取組指定型工事である。費用の計上等の運用にあたっては、「長浜市週休2日取組指定型工事実施要領(建築系工事版)」により行う。  
※ 適用する ・適用しない

② 仮設工事

① 騒音・粉塵等の対策

・ 設けない ○ 設ける  
( ・ 防音パネル ○ 防音シート ・ 養生シート ・ その他 )  
＜2. 2. 1＞

② 足場等

足場 ○ 設ける ・ 設けない  
※ 種別、位置、高さ、延長は図示による。  
・ 仮設計画を立案し、監督員と協議して決定する。  
仮囲い ○ 設ける ・ 設けない  
※ 種別、位置、高さ、延長は図示による。  
・ 仮設計画を立案し、監督員と協議して決定する。  
工事車両出入口 ○ 設ける ・ 設けない  
※ 種別、位置、高さ、延長は図示による。  
・ 仮設計画を立案し、監督員と協議して決定する。

3 監督員事務所

・ 設ける ・ 設けない  
( ・ m程度 会議テーブル、イス、ホワイトボード、エアコン )  
＜2. 3. 1＞

4 山留め

・ 設ける ・ 設けない  
※ 種別、位置、高さ、延長は図示による。  
・ 仮設計画を立案し、監督員と協議して決定する。

⑤ 工事用水

・ 利用できない ○ 利用できる ( ○ 有償 ・ 無償 )

⑥ 工事用電力

・ 利用できない ○ 利用できる ( ○ 有償 ・ 無償 )

⑦ 交通誘導員

○ 設ける ・ 設けない  
( ・ 常時 ○ 工事車両の往来がある場合 ・ 図示 )

⑧ 水替作業

水質汚濁防止法及び関係条例等に従い、敷地外に排水すること。  
必要に応じて現場内にノッチタンクの設置及び側溝に土嚢を設置し泥水の流出対策を行うこと。

9 洗車場

・ 設ける ・ 設けない  
・ 図示による。  
※ 仮設計画を立案し、監督員と協議して決定する。

⑩ その他

・ 敷地外に汚泥、濁水等を流布しないよう十分な対策を講ずること。

③ 解体施工

① 解体方法

○ 手作業  
・ 手作業及び機械による作業  
＜3. 3. 2＞

2 杭の解体

・ 行う ・ 行わない  
杭の種類 ( ・ 現場打ちRC杭 ・ PC杭 ・ 木杭 ・ 図示による )  
杭の解体工法 ( ・ 引抜工法 ・ 破砕工法 ・ 図示による )  
杭撤去後の処理 ( ・ 良質土（山砂等）による埋戻し ・ 図示による )

3 工作物

・ 行う ・ 行わない  
( ・ さく ・ 照明設備等 ・ 図示による )

4 樹木等

樹木の抜根 ・ 行う ( ・ 図示による ) ・ 行わない  
樹木の移植 ・ 行う ( ・ 図示による ) ・ 行わない

⑤ 地下埋設物及び埋設配管

・ 行う ( ・ 図示による ) ・ 行わない  
※ 埋設配管においては工事エリア内キャップ止めのこと

⑥ 解体後の埋戻し及び盛土

・ 行う ・ 行わない  
埋戻し及び盛土の材料 ○ 山砂 ・ 現状土（不足分は良土購入） ・ 図示による )

⑦ 解体後の整地

・ 行う ・ 行わない  
整地の範囲 ( ・ 敷地内 ・ 解体部 ○ 図示による )  
整地の高さ ○ 現状GL ・ 図示による )  
整地の処理 ○ 真砂土による地均し ○ 地均し後、再生砕石敷 ・ 図示による )

8 地盤改良

・ 行う ・ 行わない  
地盤改良の範囲及び深さ ( ・ 敷地内 ( cm ) ・ 解体部 ( cm ) ・ 図示による )  
地盤改良材の種別 ( ・ セメント系固化工材（50kg/㎡3） ・ 図示による )

④ 建設廃棄物の処理

① 再資源化施設等

建設廃棄物に応じた中間処理施設及び再資源化施設は、任意とするが、極力近隣の施設を選定し、監督職員の承諾を得ること。  
＜4. 4. 1＞

② 再資源化等

建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物のほか、出来る限りの廃棄物を再資源化するよう努めること。  
＜4. 4. 1＞

3 現場内再資源化

建設廃棄物を再資源化し、現場で利用する物  
＜4. 4. 1＞

種 類

利用する場所(箇所)等

4 産業廃棄物広域認定制度

※ 活用しない ・ 活用する(種類： 所在地等：)  
＜4. 4. 2＞

⑤ 最終処分施設

建設廃棄物に応じた最終処分施設は、任意とするが、極力近隣の施設を選定し、監督職員の承諾を得ること。  
＜4. 4. 3＞

⑥ 処分に注意を要する建設廃棄物

※ 共通仕様書による ・ 該当しない  
分別解体作業時に該当建材があった場合は、監督職員に現状を報告すること。  
＜4. 5. 1＞

⑤ 特別管理産業廃棄物の処理

① 特別管理産業廃棄物の処理等

＜5. 4. 1＞

材 料 名

分析調査

備考

PCB含有機器類

○ 行う ・ 行わない

照明器具について、PCB含有の有無を調査し監督職員に報告すること

PCB含有シーリング材

廃油

廃酸・廃アルカリ

ダイオキシン類

上記廃棄物処理の処理方法

※ 共通仕様書による ・ 図示による

⑥ 石綿含有建材の除却及び処理

1 石綿粉じん濃度測定

・ 行わない ・ 行う (測定する時期・場所等は下表による)  
＜6. 1. 3＞

測定名称

測定時期

測定場所

測定点(各施工箇所ごと)

備考

・ 測定1

処理作業前

処理作業室内

※各2点 ・ 点

・ 測定2

調査対象室外部の付近

※計2点 ・ 点

大気

・ 測定3

処理作業中

処理作業室内

※各2点 ・ 点

・ 測定4

負圧・除じん装置の排出吹出し口

※各2点 ・ 点

・ 測定5

処理作業室外

※4方向1点 ・ 点  
(敷地境界)

・ 測定6

処理作業後  
(シート養生中)

処理作業室内

※各2点 ・ 点

・ 測定7

処理作業後  
シート撤去後  
1週間以降

処理作業室内

※各2点 ・ 点

・ 測定8

調査対象室外部の付近

※計2点 ・ 点

大気

※ 周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。

2 石綿含有吹付けの除去 (レベル1)

＜6. 3. 1＞

使用場所

建材名・仕様

検体分析

備 考

汚 (有)

除去工法

＜6. 3. 2＞

※ 共通仕様書 (6. 3. 2) による ・ 特殊工法 ( )  
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置  
※ 湿潤化 ・ 固形化  
除去した石綿含有吹付け材等の処分  
※ 埋立処分 ・ 中間処理

3 石綿含有保温材の除去 (レベル2)

＜6. 4. 2＞

使用場所

建材名・仕様

検体分析

備 考

除去工法

＜6. 4. 3＞

※ 原形のまま、手ばらし ・ 共通仕様書 (6. 3. 2) による除去工法 ・ 特殊工法 ( )  
除去した石綿含有保温材等の処分  
※ 埋立処分 ・ 中間処理

④ 石綿含有成形板の除去 (レベル3)

＜6. 5. 1＞

使用場所

建材名・仕様

検体分析

備 考

軒天

ケイカル板

クリンタイル

採取調査済

天井

化粧石膏ボード

みなし

トイレ 壁

石綿板

みなし

給湯室 床

Pタイル

クリンタイル

採取調査済

除去工法

＜6. 5. 2＞

※ 共通仕様書 (6. 5. 2) による除去工法 ・ 特殊工法 ( )  
除去した石綿含有成形板の処分  
石綿含有せっこうボード  
※ 埋立処分  
石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等  
※ 埋立処分 ・ 中間処理

5 石綿含有仕上塗材の除去

＜6. 6. 1＞

使用場所

建材名・仕様

検体分析

備 考

除去工法

＜6. 6. 1＞

・ 剥離剤併用手工具クレン工法  
※ 兼じん装置付きディスクグラインダークレン工法  
( )  
工法以外の項目  
・ 解体共仕第6章3節による。(レベル1)  
※ 解体共仕第6章6節による。(レベル3)

7 特殊な建設副産物の処理等

＜7. 3. 1＞

種類

回収及び処分

備考

特定物質

・ フロン (冷媒)  
・ フロン (建設用断熱材)  
・ ハロン

※ 回収 ・ 処分  
・ 回収 ※ 処分  
※ 回収 ・ 処分

イオン化式感知器

※ 回収 ・ 処分

六ふっ化硫黄ガス

※ 回収 ・ 処分

P F O S

※ 回収 ・ 処分

特定化学物質等

※ 回収 ・ 処分

※ 回収及び処分方法は共通仕様書による。

長浜市

NAGAHAMA

TITLE

宇根本集会所解体工事

DRAWING NAME

A1-SCALE A3-SCALE

No. 14032405

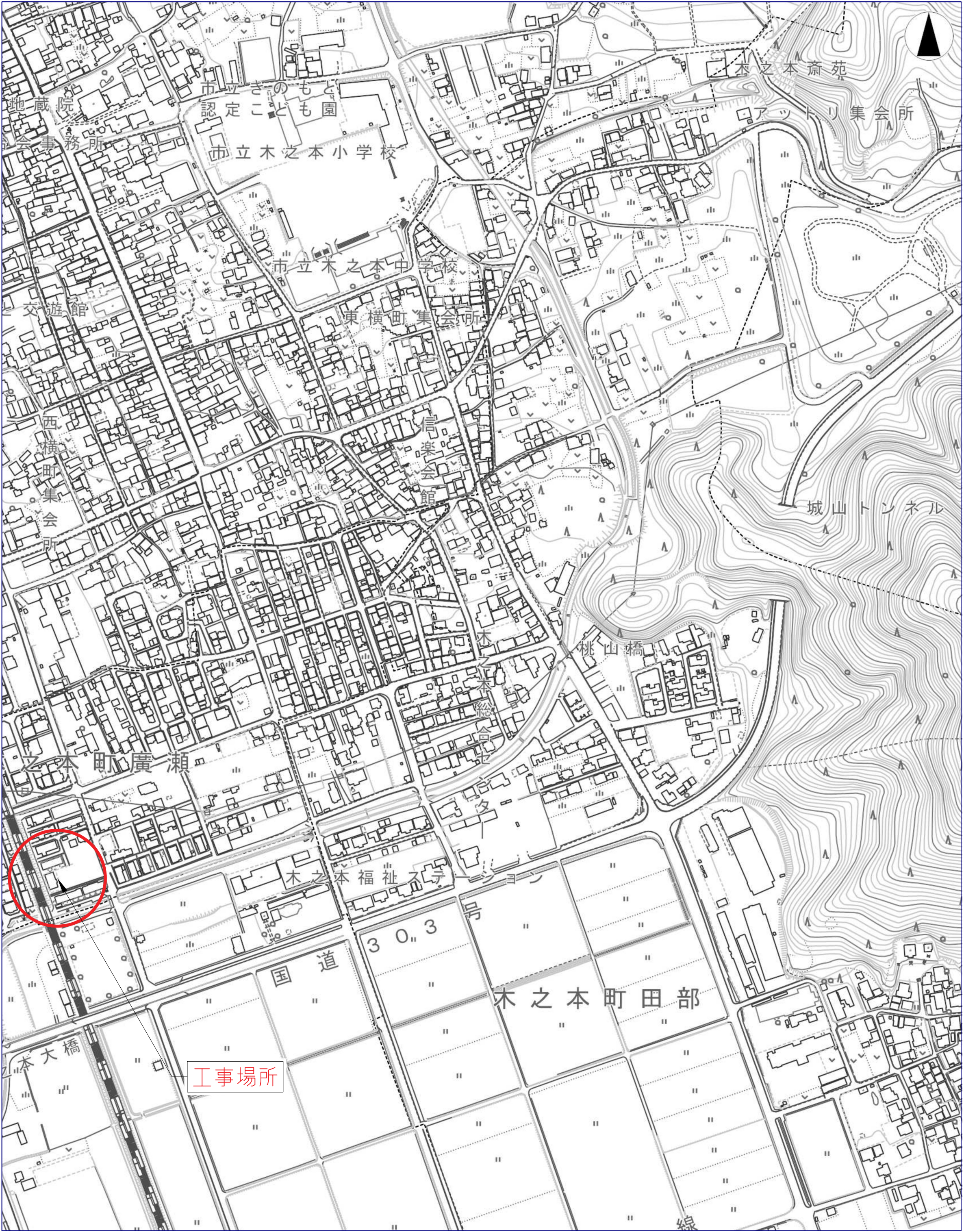
解体特記仕様書 1

A

1

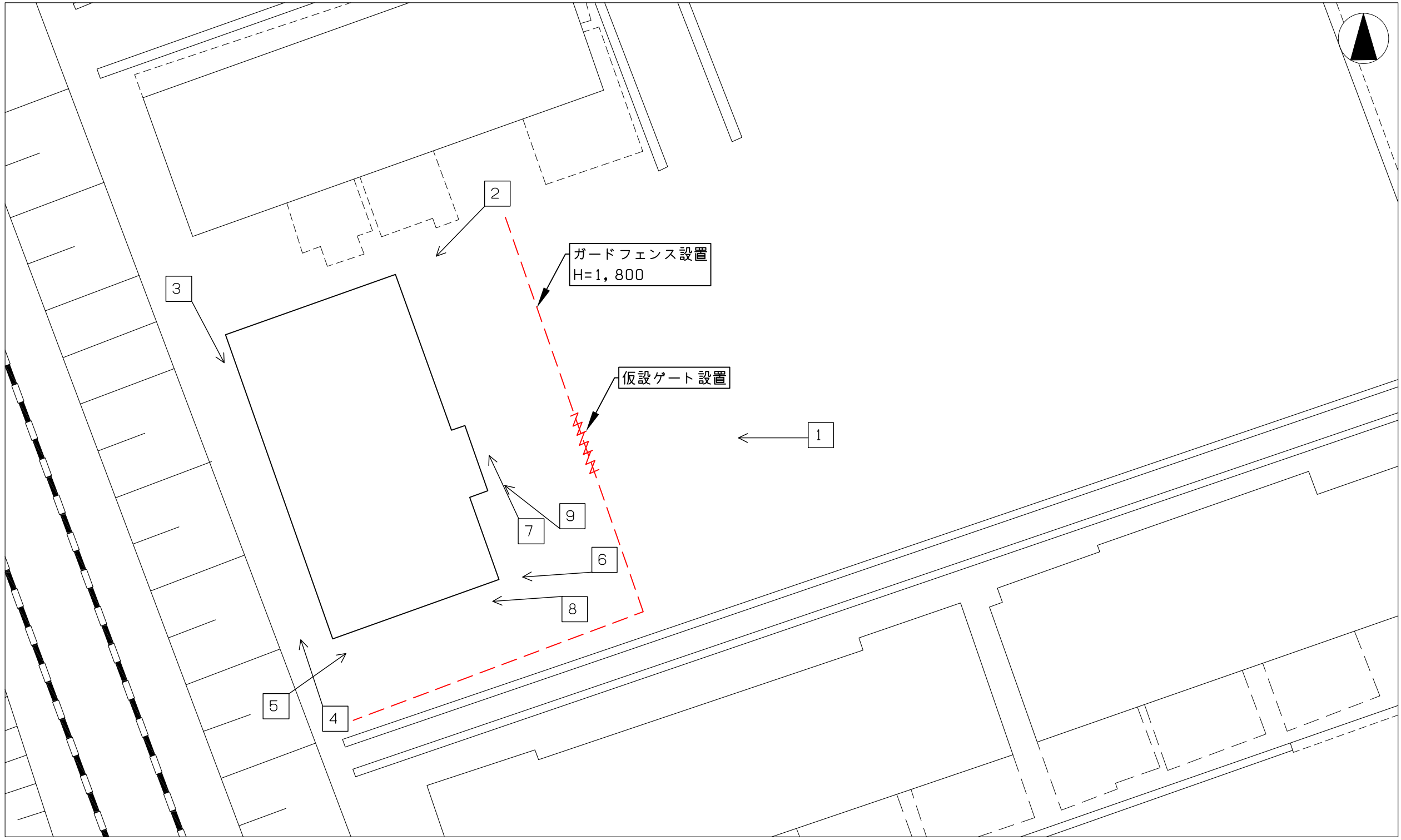
4



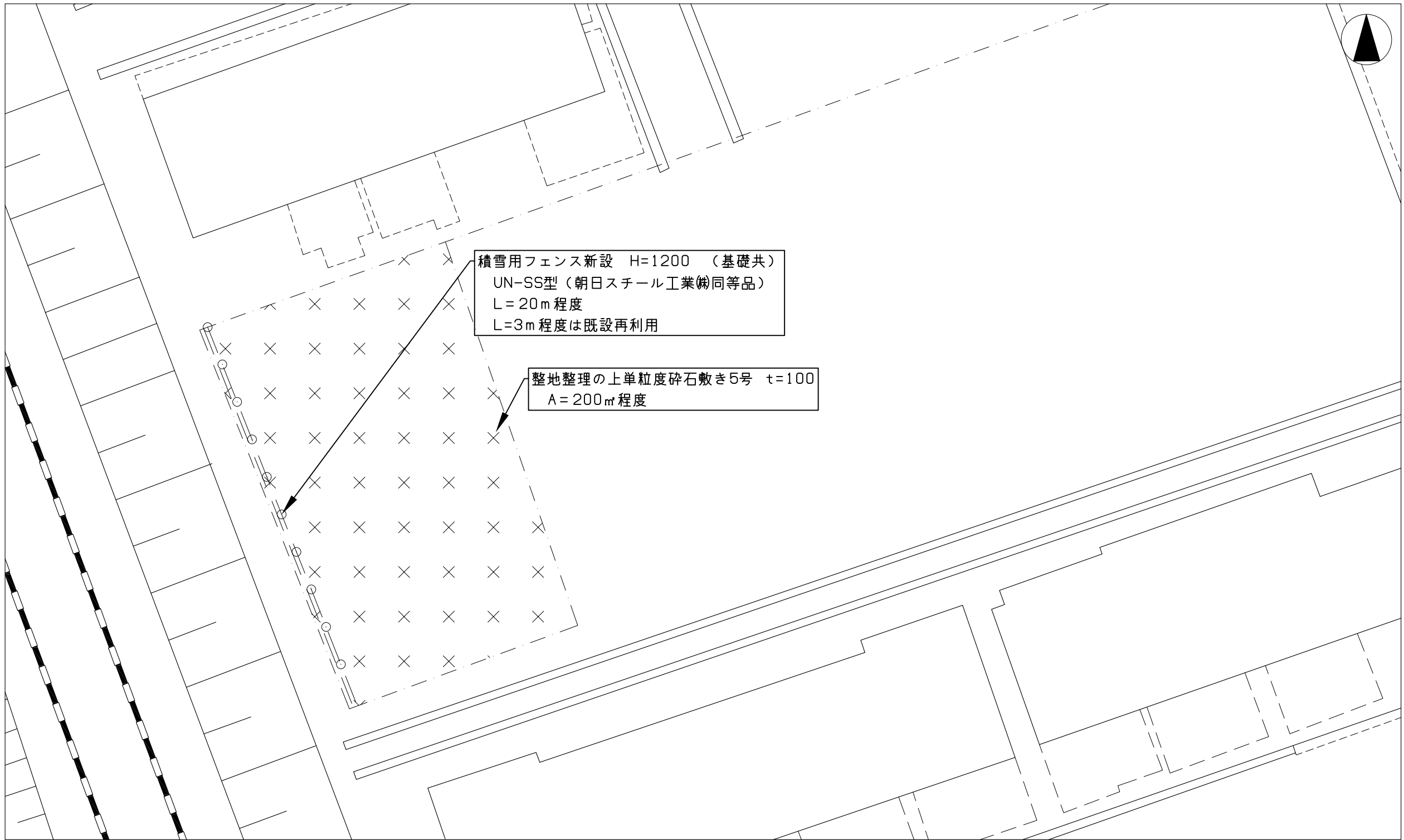


付 近 見 取 り 図

0 200m

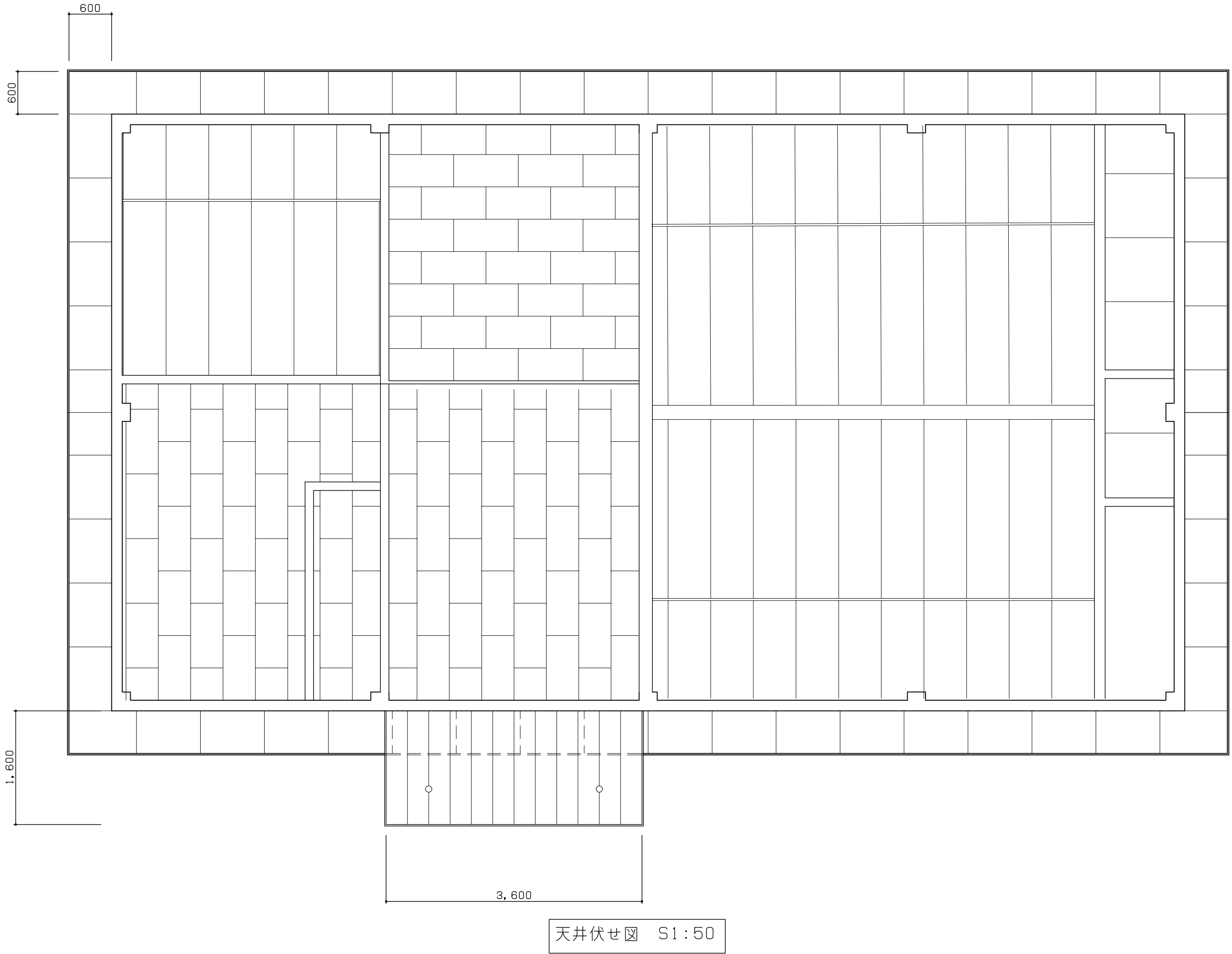
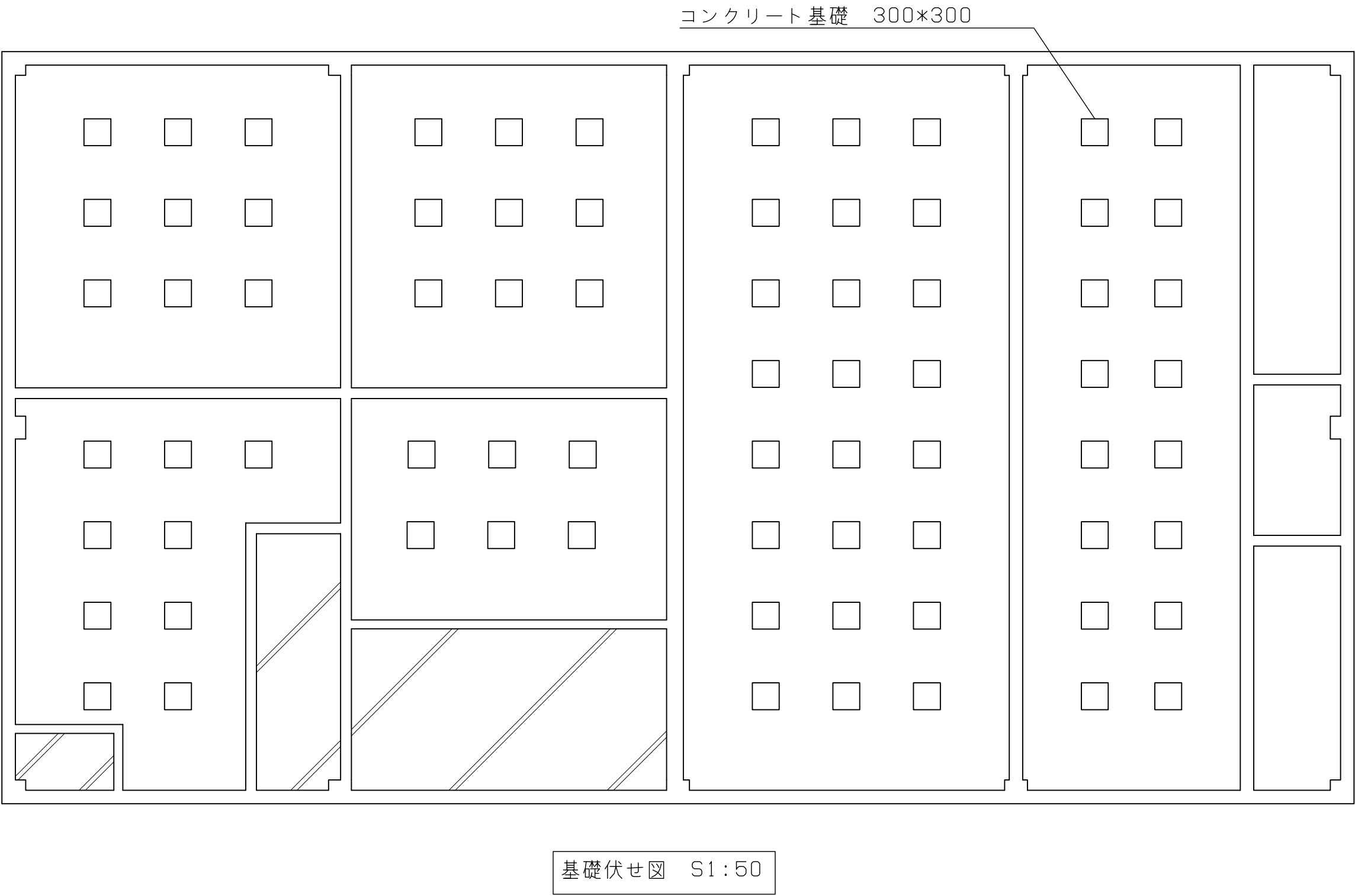
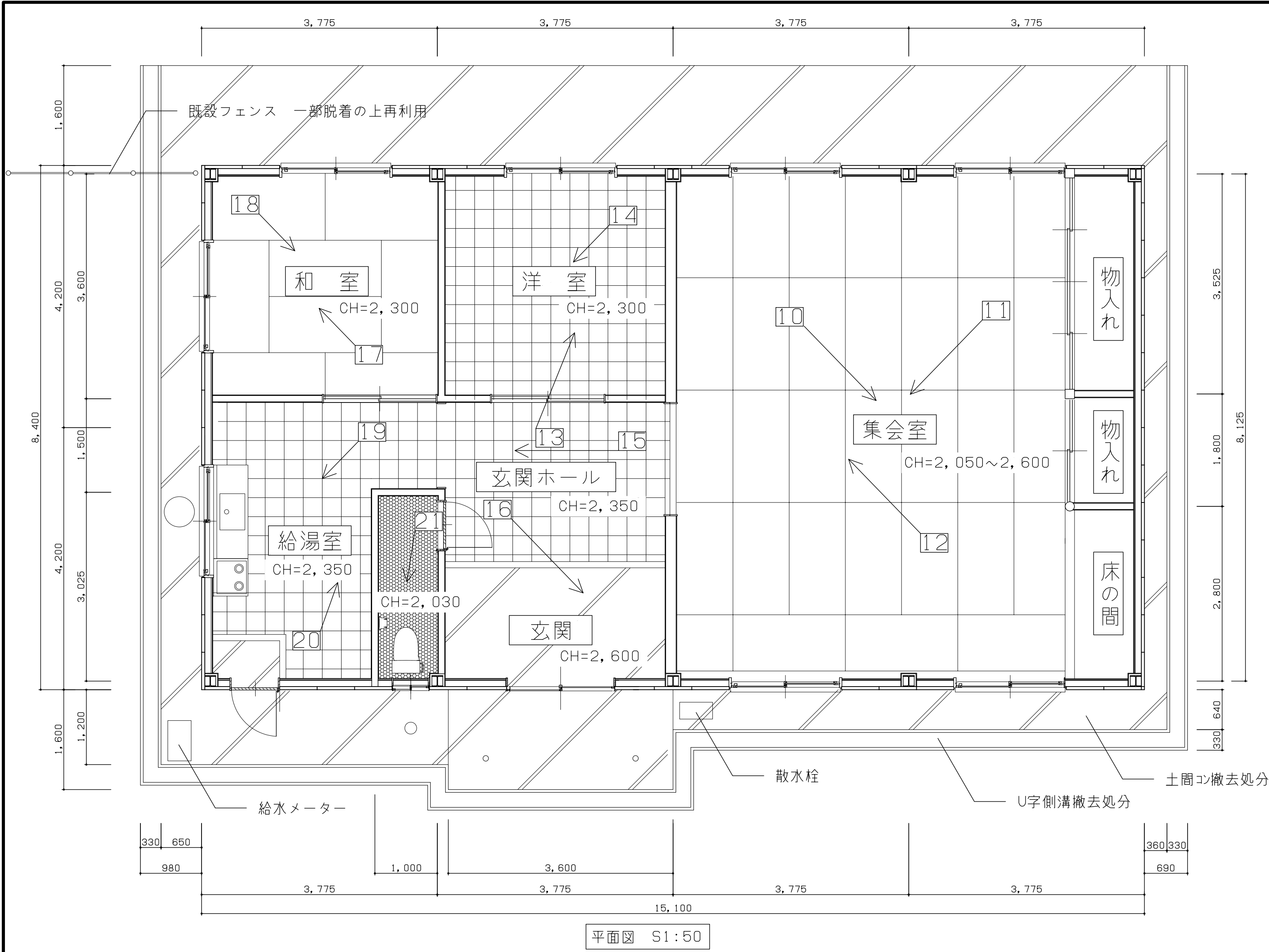


現 況 配 置 図



解 体 後 配 置 図





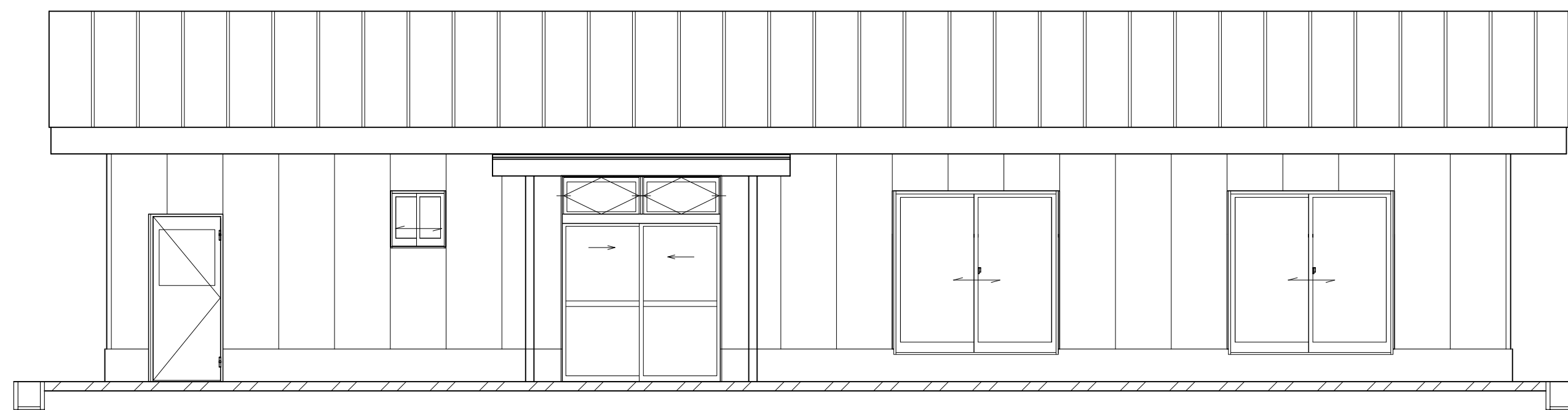
既設外部仕上げ表

屋 根	カラー鉄板 下地木毛セメント版	外 壁	外装薄塗材吹付 ALC 750
軒 天	ケイカル板(石綿含有建材) EP	巾 木	コンクリート打放しの上モルタル補修
ポーチ 軒 天	化粧合板		

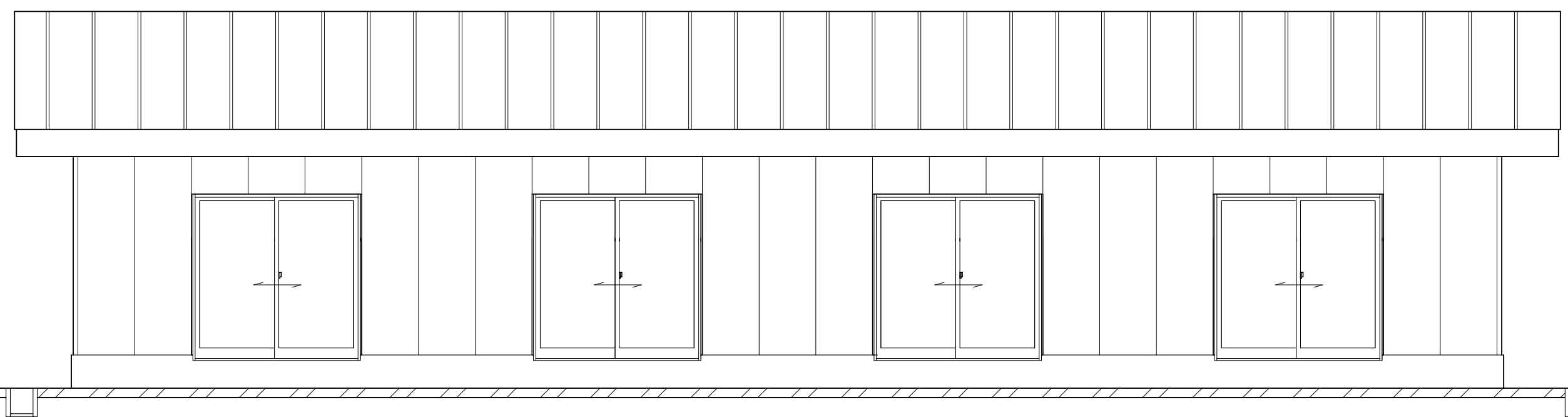
既設内部仕上げ表

室 名	床	巾 木	壁 (腰)	天 井
集会室	畳敷 コンパネ下地 木床組み 束立て	畳寄せ	壁 クロス貼り 下地GB-R9 木下地	和天用化粧石膏ボード t9 LGS (石綿含有建材)
物入れ1 物入れ2	コンパネ 木床組み 束立て	-	壁 GB-R9 木下地	ベニア張り LGS (物入1) 和天用化粧石膏ボード t9 LGS (物入2) (石綿含有建材)
床の間	木板(松) 木床組み 束立て	-	壁 クロス張り 下地GB-R9 木下地	クロス張り 下地GB-R9 LGS
和 室	畳敷 コンパネ下地 木床組み 束立て	畳寄せ	壁 クロス貼り 下地GB-R9 木下地	和天用化粧石膏ボード t9 LGS (石綿含有建材)
洋 室	Pタイル敷(石綿含有建材) コンパネ下地 木床組み 束立て	木巾木	壁 プリント合板 下地GB-R9 木下地	化粧石膏ボード t9 LGS (石綿含有建材)
給湯室	Pタイル敷(石綿含有建材) コンパネ下地 木床組み 束立て	木巾木	壁 :プリント合板 下地GB-R9 木下地 流し前:100角タイル張り	化粧石膏ボード t9 LGS (石綿含有建材)
玄関ホール	Pタイル敷(石綿含有建材) コンパネ下地 木床組み 束立て	木巾木	壁:プリント合板 下地GB-R9 木下地	化粧石膏ボード t9 LGS (石綿含有建材)
玄 関	土間コンクリート	木巾木	壁:プリント合板 下地GB-R9 木下地	化粧石膏ボード t9 LGS (石綿含有建材)
トイレ	モザイクタイル張り コンパネ下地 木床組み	-	壁:石綿板(石綿含有建材) 木下地 腰:100角タイル ラスモル 木下地 H=1000	化粧石膏ボード t9 LGS (石綿含有建材)

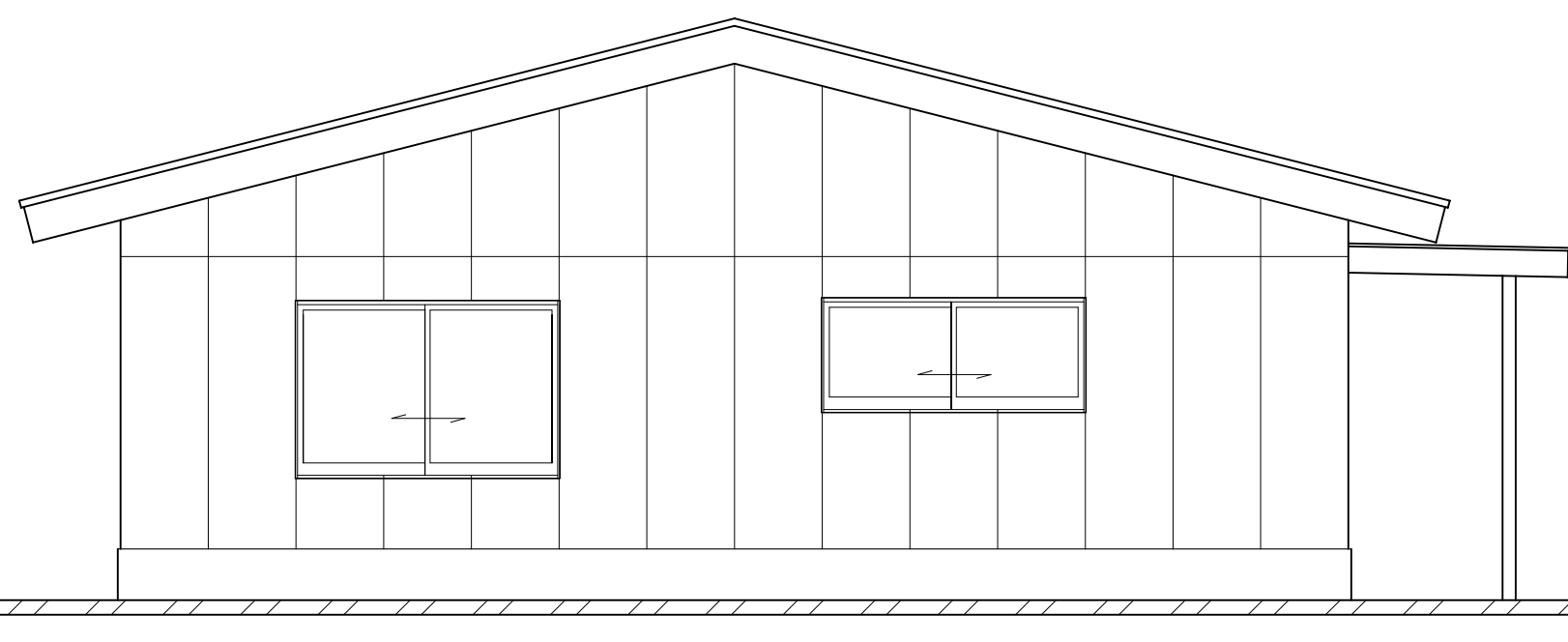
※集会所内に集積されているALC版(2,000×600×50 38枚)及び洋室内の畳9畳も本工事にて撤去処分のこと。



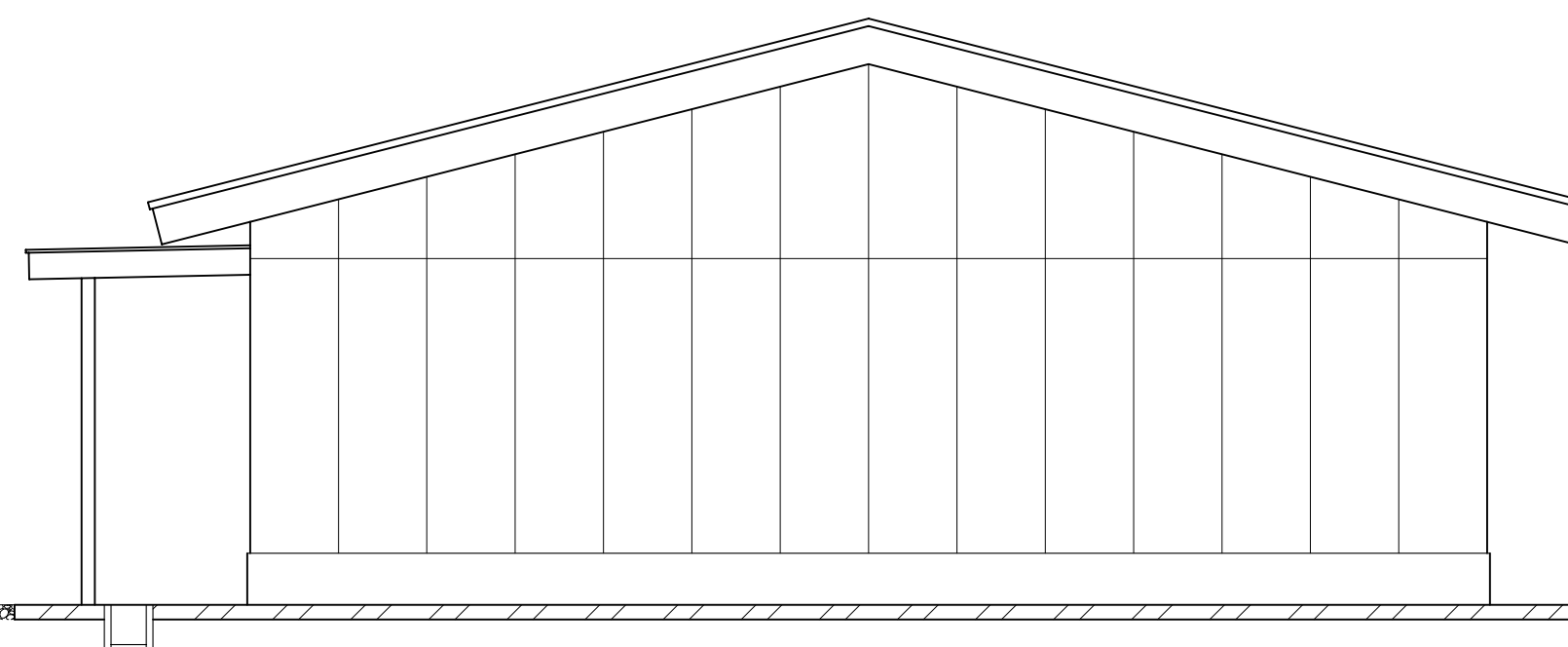
東立面図 S1:50



西立面図 S1:50



南立面図 S1:50



北立面図 S1:50